

Mesdan社について

1952年 Daniele Messa卿によってMESDAN社は設立されました。イタリアのサロを拠点とし、テキスタイル・ノッターを得意とする製造業者でした。

1960年代、Pietro Messa氏の創意工夫の下、世界の繊維市場、特にノッター分野において評判のメーカーへと成長しました。

80年代にRenato Zanca氏(Pietro Messa氏の後継者)がスプライス装置の革新を実現すると、「Jointair」や「Aquasplicer」をトレードマークとして国際的な認知をさらに得ました。

さらに、糸繋ぎ装置で得た世界的リーダーシップと40年以上に及ぶ繊維業界での経験を元に、Zanca氏は事業の多様化を決断しました。品質管理・品質保証に対する市場からの要求の高まりに応えるべく、繊維試験装置事業へ進出することにしたのです。

90年代初め、Mesdan社は試験装置分野に参入し、この分野における大変有力な企業との商業提携を果たしました。

Osvaldo Fessia's Omac SNC社を買収後、繊維工程向けの試験装置の職人集団による Mesdan-Lab という部署を新設しました。Mesdan-Labは現在、繊維製品解析装置を幅広く品揃え、試験計画や装置認証を含む顧客サポートを提供しています。

Mesdan-Lab 製品は国際基準に適合しており、高品質を特徴としています。

70カ国以上のセールス&サービスセンターは質の高いアフターサービスを提供し、顧客の要望に応じた問題解決に努力しています。



MESDAN is member of

